

デマンド型交通の実証実験について(報告)

R6.12.16安心安全課

1. 主な仕様について

- (1) 期間：令和6年10月1日～11月30日（2か月間）
時間：毎日午前7時30分～午後6時30分
- (2) 場所：N-バス東部線・三ヶ峯線沿線エリア
- (3) 停留所（乗降ポイント）：54箇所《別図》
- (4) 運賃：1エリア内移動200円/人、2エリア移動400円/人
- (5) 利用方法：事前登録（電話の場合は不要）→利用予約（電話又はWEB）
- (6) その他：車両2台（午前2台、午後1台）、配車センター設置

2. 手続の経過について

愛知運輸支局の手続完了（運行事業者：あんしんネットあいち） 令和6年9月18日

3. 周知・説明の経過について

- (1) 市広報（9月号、10月号（施策記事・マップ折込））
- (2) 自治会回覧（8月、9月、10月 ※内容は各月で深堀項目を改編）
- (3) 市HPでの周知 ※トップのスライドショーも追加、ひまわりCATVの動画配信へのリンク挿入
- (4) ひまわりCATVでのニュース放映
- (5) 自治会、シニアクラブ（地域サロンを含む）、ファミリーサポート事業、団体（障がい者団体等）への説明
- (6) ポスター掲示（リニモの各駅、公共施設）、運行事業者による周知、すぐメールの送信等の実施

1

4. 利用モニターについて

- (1) 豊田中央研究所との共同研究により実施（アンケート、旅程調査の実施）
- (2) 目的：特に公共交通の乗継状況の確認
- (3) モニタリング内容：事前・事後アンケート、旅程調査（デマンド利用日の全行程）
- (4) 特典：デマンド利用券、市営地下鉄・バス一日乗車券（東部地域の人のみ）
- (5) モニター登録者27人

5. 利用促進策(乗継割引キャンペーン)の実施について

- (1) 豊田中央研究所との共同研究により実施
- (2) 目的：利用促進、公共交通の乗継促進、乗継状況の確認
- (3) デマンド型交通利用時に他の公共交通機関との乗継がある場合に乗継票記入でデマンド型交通の1エリア移動分（200円/人相当）の利用料金を割引します。

6. 利用状況について(速報版)

- (1) 利用登録者 119人
- (2) 利用状況 次頁のとおり

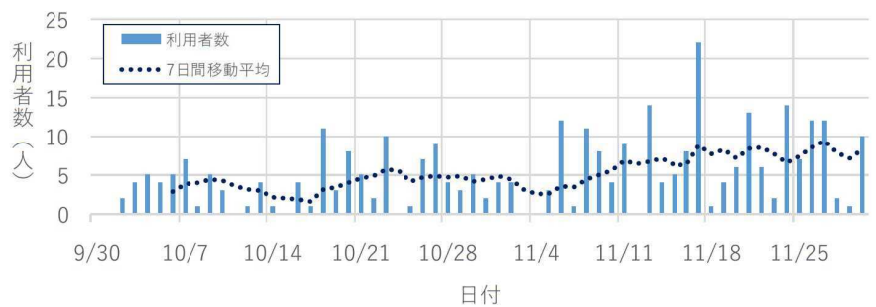
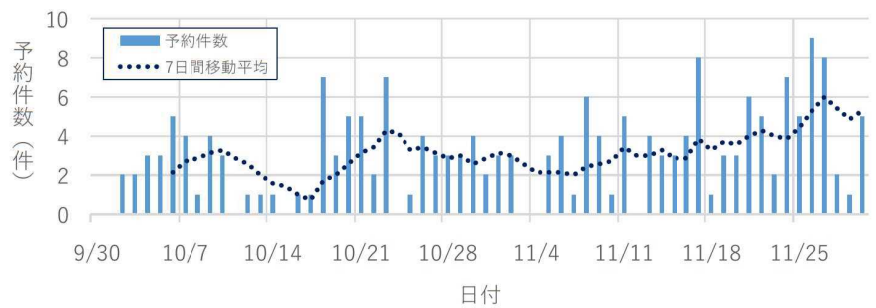
7. 運行経費について

委託費	7,281,884円	
収入	13,100円	（割引・特典分64,000円を除く）
負担額	7,268,784円	

2

実験期間中の利用状況(速報版)

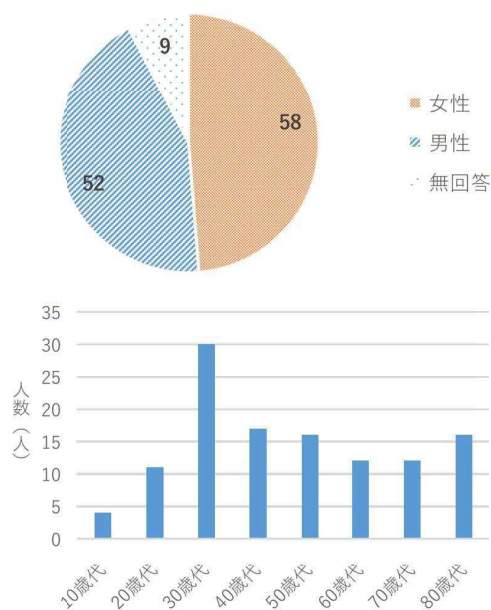
- (1) 予約件数： 189件
 - Web予約：149件
 - 電話予約：40件
- (2) 利用者数： のべ316人
- (3) モニター特典券
利用数：82枚(人)
- (4) 乗り継ぎ割引キャンペーン
利用数：164枚(人)
- (5) 乗り合い件数：3件



日別の予約件数と利用人数の推移

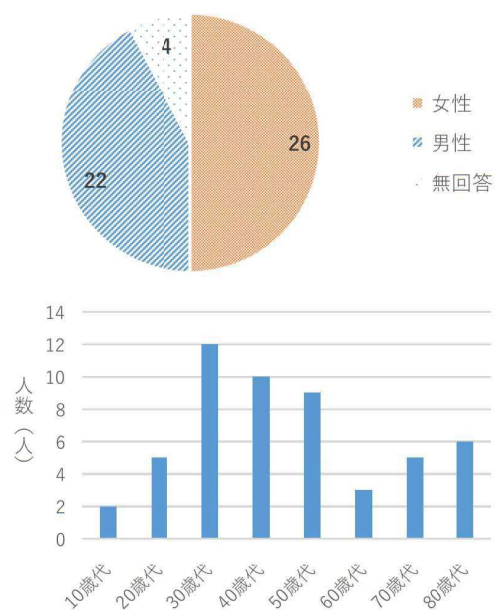
3

サービス登録者(合計119人)の内訳



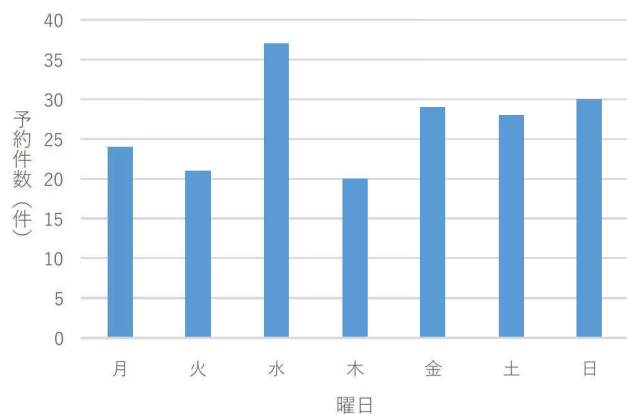
ユニークユーザー※(合計52人)の内訳

※ 1回以上予約を実行した登録利用者

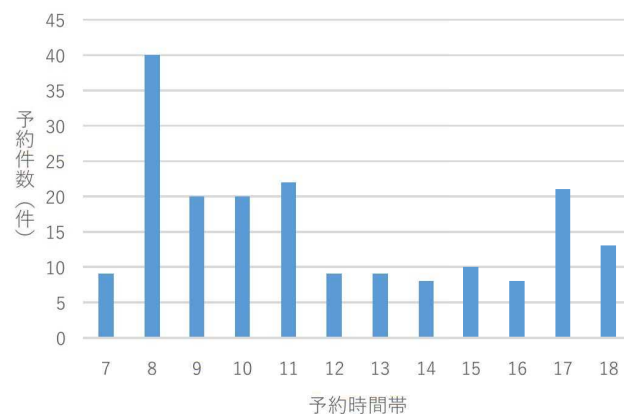


4

曜日別の予約件数

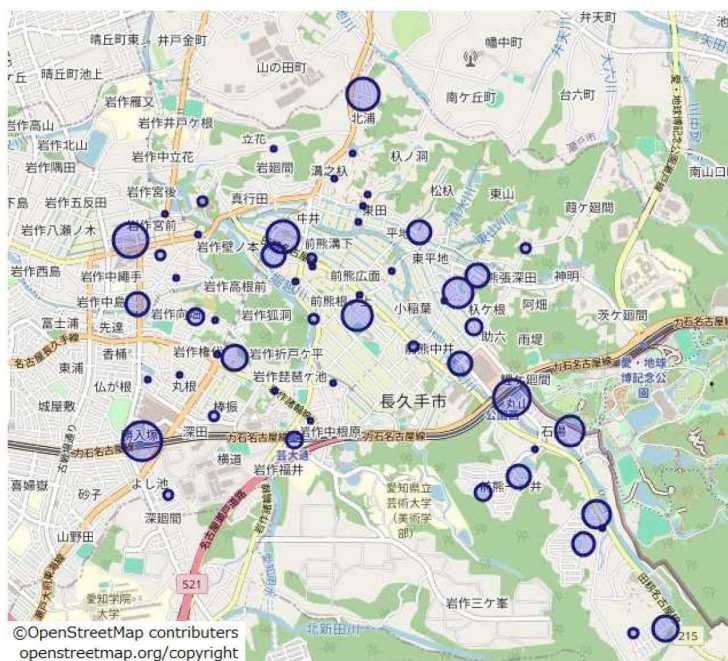


時間帯別の予約件数



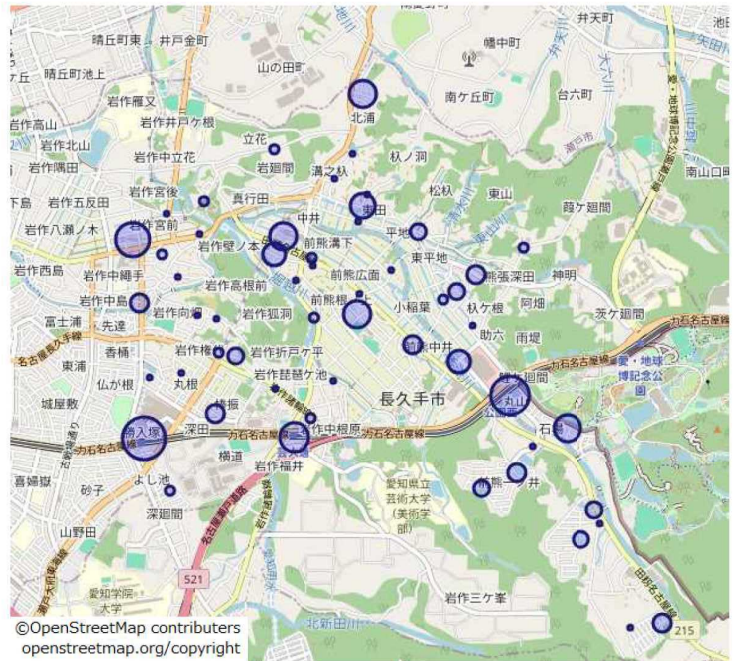
乗車が多かった乗降場所

停留所名	利用回数
長久手古戦場駅	29
公園西駅	19
長久手市役所	14
福祉の家	11
戸田自動車北(北浦地区)	11
北熊公民館	10
公園西2号公園	10
長久手農楽校	9
三ヶ峯第3公園	7
長久手ニュータウン掲示板	6
市民テニスコート	6



降車が多かった乗降場所

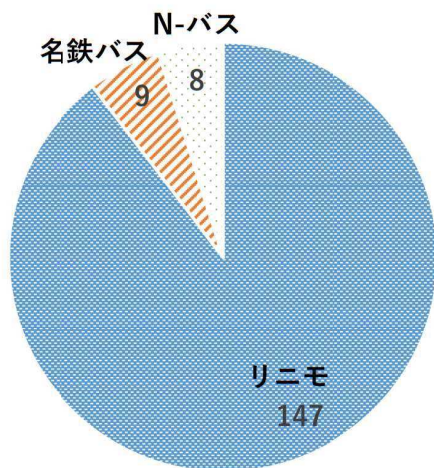
停留所名	利用回数
長久手古戦場駅	44
公園西駅	25
長久手市役所	17
芸大通駅	9
公園西2号公園	8
福祉の家	8
長久手農楽校	8
戸田自動車北(北浦地区)	8
大草中集会所	6
前西公民館	5



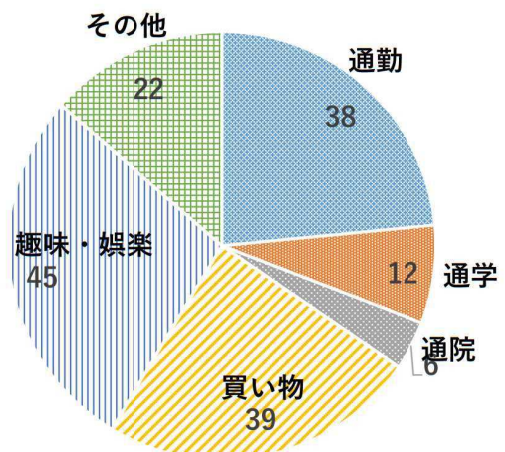
乗り継ぎ割引キャンペーンの利用状況

- (1) 乗り継ぎ割引を利用した予約：110件（予約総数189件の58%）
- (2) 乗り継ぎ割引の利用人数：のべ164人（総利用人数316人の52%）

乗り継ぎ元/先の交通機関

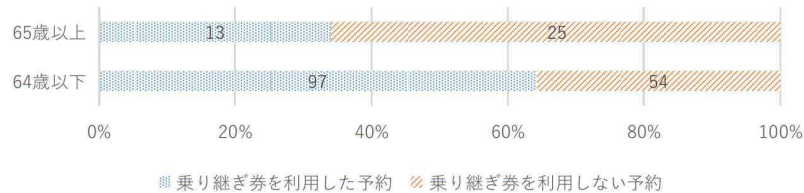


利用目的



今回の実証実験で得られた知見(速報)

- (1) リニモ/名鉄バス/N-バスとデマンド交通の乗り継ぎ利用による移動需要が非常に大きいことがわかった
- 趣味・娯楽/買い物から通勤まで、多岐に渡る目的で利用されている
 - 64歳以下の利用も多く、幅広い利用があった



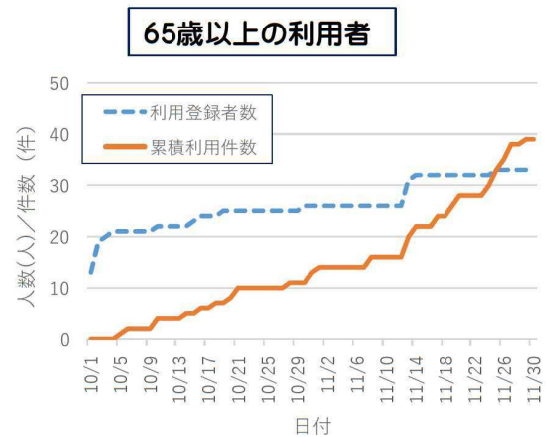
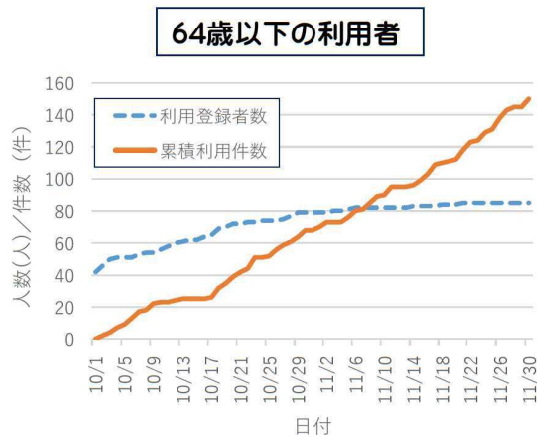
- (2) 子育て世帯の移動需要も大きい
- 幼児もしくは未就学児を同伴しての利用は34件（予約総数192件の18%）

実験で得られたデータの分析を進めて、来年の実証実験の進め方や
将来の東部エリア/三ヶ峯エリアの将来の公共交通のあり方を検討する

また、N-バス/デマンド交通とリニモ・名鉄バスとの乗り継ぎ割引の実現方法を検討する

今回の実証実験における課題(速報)

- 当初は利用数が芳しくなかった ⇒ 実験開始後も周知の取組を随時進め、利用が増えてきた
- 昼間時間帯（12時台～16時台）の利用が比較的少なかった（5 ページ右グラフ）



来年度の実証実験に向けては、デマンド型交通停留所の公募など、
具体的な周知/利用促進施策の実施を検討する

8. アンケートの実施について

実験後にモニター、利用登録者、市民（無作為1,500人）にむけてデマンド型交通や市の公共交通について、アンケートを実施しています。

＊デマンド型交通の実証実験にかかる評価指標2項目（以下）を確認します。

【評価指標①】

「普段、徒歩や自転車で行けない離れた所に外出する際に、公共交通の利用を考えますか？」の質問において、「公共交通利用を考える人の割合」にて評価します。

【評価指標②】

「市内を移動しやすくするために必要と思う公共交通はどのようなものですか？」の質問において、「必要と思う公共交通でデマンド交通を選ぶ人の割合」にて評価します。

9. 今後について

- ・ アンケートの結果を確認・分析します。
→ 次回（令和7年3月に開催する）の地域公共交通会議にて報告を予定しています。
- ・ 利用状況やアンケートの結果などを踏まえ、令和7年度の実証実験の仕様を検討していきます。